

JICA(ジャイカ)沖縄訪問

独立行政法人国際協力機構の国内機関のひとつ「沖縄国際センター(JICA沖縄)」では、開発途上国の政府関係者などを対象に沖縄の強みを活かした各種分野の研修、沖縄からのJICAボランティアの募集や派遣に関する事業、NGO活動への協力や国際理解教育・開発教育の支援など地元の国際交流にも関わっている。当施設は浦添市にあるが、匂いや雰囲気は異国感溢れており、開所30周年で100ヶ国以上から延べ1万人以上の研修生を受け入れている。



研修生たちがイベントで自国の民族舞踊を演じた際の民族衣装が試着が出来ることから、多くの方が着用してお姫様気分で大いにはしゃいでいた。

昼食は校内の食堂で外国の方々と一緒に食事をした。当施設に訪れた研修生たちが語学・文化に直に触れ合うことで、沖縄の理解に大いに役立つであろう。

第2回懇親カラオケ大会 11月6日(日)



会場は230名余りの観客や応援団で満席となった。当自治会からは渡嘉敷幸助さんと嘉数千恵子さんがエントリーし、お二人とも特別賞を受賞した。人間社会では音楽や歌の無い世界は考えられない。いつ何時でも、耳を押さえても心の中で音楽が聞こえ、音楽を聴くことで思い出も蘇ってくる。音楽は過去から現在、時間を越えて私達を支えている。今回の出場者は、殆

どが前回のメンバーと変わっていた。大会参加者の層の厚さがうかがえる。この大会は食事有り、お酒有りの大ディナーショーで雨天関係なく開催されることから、今後益々の大盛況となるだろう。



グランドゴルフ大会 11月20日(日)



グランドゴルフは年齢性別関係なく参加できる事から各班対抗で有るが全種目に参加者が殺到した。子供と大人が和気藹々プレーする姿は清々しい。真剣な顔、残念そうな顔、満

面の笑顔、一点集中する姿、心は晴天だろう。会場に椅子を持ち出し休み休みプレーをする姿はリハビリとしても良いことが分かる。参加することに意義あ

る大会で、全員に参加賞が配られた。当自治会が所有するこのグランドゴルフ場は、木会がゴルフ場に匹敵する状態で管理している。会員の利用者が増えて次の大会を益々盛り上げて欲しいものである。



国場学(指導教員:波平エリ子)

本講座は10年前から波平エリ子先生の毎年の講義の中で行われている。軽便鉄道の国場駅に関する研究では写真や線路、枕木(セメント)、説明文が展示された。今も当会館ロビーに一部が保管され、垣間見ることができる。

講座の一環で、古き良き時代の聞き取り調査が6月9日から7月21日に4回にわたり国場自治会館で行われた。聞き取りは当地域の大先輩として後身者の相談や指導にあたられている金城キヨさんと金城美枝さん姉妹から行われた。

この度、講座の学生達がまとめとして作成した小冊

子が当会に寄贈された。古き良き時代の生活模様や風習が醸し出され、時代が坦々と、そしてゆっくりと流れていたことが良くまとめられている。古きを知り現代を知ることで、時代は今後も変わっていく事を知り、若者は現在と今後を見つめて、この先ワクワクできる社会を構築してほしい。



前号「ここはどこでしょう」の木の花が期待どおりに桜のように咲き乱れています。

